

資料1-6-3

利用用途ごとの要求品質その3(路盤材)

工法	上層路盤材料の品質規格 ⑩-1	下層路盤材料の品質規格 ⑩-2
粒度調整	修正CBR80%以上、PI4以下	----
粒度調整鉄鋼スラグ	修正CBR80%以上	----
水硬性粒度調整鉄鋼スラグ	修正CBR80%以上 一軸圧縮強さ[14日]1.2MPa以上	----
セメント安定処理	アスファルト舗装の場合： 一軸圧縮強さ[7日]2.9MPa コンクリート舗装の場合： 一軸圧縮強さ[7日]2.0MPa	一軸圧縮強さ[7日]0.98MPa
石灰安定処理	一軸圧縮強さ[10日] 0.98MPa	アスファルト舗装の場合： 一軸圧縮強さ[10日間]0.7MPa コンクリート舗装の場合： 一軸圧縮強さ[10日間]0.5MPa
瀝青安定処理	加熱混合	安定度 3.43kN以上 フロー値 10~40(1/100cm) 間隙率 3~12%
	常温混合	安定度 2.45kN以上 フロー値 10~40(1/100cm) 間隙率 3~12%
セメント瀝青安定処理	一軸圧縮強さ 1.5~2.9MPa 一次変位量 5~30(1/100cm) 残留強度率 65%以上	----
粒状路盤	----	修正CBR20%以上(クラッシュラン鉄鋼スラグは修正CBR30%以上) PI6以下(PIは鉄鋼スラグには適用しない)
基準等	社団法人日本道路協会： 「舗装施工便覧」,平成13年12月	

[注1]上層路盤材の瀝青安定処理において、骨材の事情などからフロー値10~40(1/100cm)の確保が困難な場合、大型車交通量(舗装計画交通量)が1000台/日・一方向未満の場合は、フロー値の上限を50(1/100cm)としてもよい。